



並木中等story

令和2年10月14日号

悩みの源は何だろう？

今日は、尊敬する尼僧の川村妙慶さんが書かれた『心の荷物をおろす108の智慧』（講談社）に掲載されている内容からの作成です。



「青々想」 上哲夫氏作 本校掲示

“人はいくつになっても悩む”と言われます。私も悩みは多いです。ひどいときは腹痛まで起こしてしまいます。ある先生に悩みの分析を勧められ、行ってみると“思い通りに仕事が進まない”“このようになっていないとダメなど、勝手な思い込みを自分や他人に当てはめて怒っている”など自分にとってどうであるかという悩みが結構ありました。妙慶さんは“**自分のことばかりだと、まわりは何も見えない。悲しみ、苦しみも共有できない。まわりが見えてこそ人間となれるのです**”と話します。今は、悩み出した時は「〇〇ならどうするかな。」などと考え、自分中心からの意識をはずして、考えるようにしています。

しかし、次々悩みは湧いてきます。最近分かった事で“人に認められたい”との意識があると、自分の現状とのギャップで悩む事も多くなるようです。悩みとは上手に付き合っていく必要があります。

祝《令和2年度県総文祭囲碁部V2》

青柳博紀さんが水戸第一高等学校で開催された令和2年度県総文祭囲碁部の部で優勝。2連覇を達成しました。これにより、**来年1月に開催される関東大会への出場権を獲得**しました。おめでとうございます。